

# 令和3年度 幼・保・小連携推進地区事業 実践報告



青葉区 恩田地区

- ・認定こども園ナザレ幼稚園
- ・横浜市立恩田小学校



テーマ  
子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小連携

## なぜ、幼保小をつなぐことが必要か

### テーマ設定の理由



長い目で見ての子どもの育ちを実現するため  
幼少期の教育が、その後の学校教育、さらに大人になってからの活動の基盤を作るため  
それぞれの成果をつなぎ、連動してこそ生涯にわたる教育の基礎が培われるため

そのために

- ・ 幼児教育と小学校教育の各々の充実が必要
- ・ お互いの理解が欠かせない

認定こども園 ナザレ幼稚園

## 四恩は四端から始まる



人間の人格形成は、心の中にあるこれら四つの特性の発見から始まります。  
子どもたちは皆、自分の心の中にある「四端」を引き出し、これらを「仁」「礼」「義」「知」に育てあげるといふ課題を負っています。

これを導き、手助けすることこそが、私たちの教育の使命です。

ナザレ幼稚園ホームページより引用

恩田小学校 学校づくりのビジョン

## 「子どもを育てる」学校から 「子どもが育つ」学校へ



子どもたちが安心して自己発揮できる学校を  
教職員、家庭、地域の方、みんなで  
創っていききたい。

一人ひとりの子どもを徹底的に大切にし、  
教職員が子どもたちの伴走者になりたい。

「この人に伴走してもらいたい」  
と思ってもらえるような教職員でありたい  
と思います。

## 推進内容

- A 園と学校で進めるスタートカリキュラムの開発、カリキュラム・マネジメント
- B 保育参観や授業参観を通じた教職員の連携
- C 子どもの交流活動



## A-1 スタートカリキュラム 園を参考にした教室環境でなかよしタイム（4月）



教室の片隅に園を参考にした遊びコーナーを設けました。  
朝の支度が終わったら、たっぷり遊び、人間関係を深める時間をとることで安心感を育みます。

## A-2 スタートカリキュラム 安心楽しいを育むわくわくタイム（4月）



園での生活を参考にして、歌や踊り、絵本の読み聞かせなどから1日を始めます。  
ゆっくりと朝の会へと移行しました。

## A-3 スタートカリキュラム 知ってる！を大切にしたぐんぐんタイム（4月）

園での経験を思い出し、話す時間を大切にするこ  
とで  
学びのルールを子どもが自ら作り、主体的な学習へつながるよう促しました。



生活科：がっこうた  
んけん

プールに落ちないよ  
うにするには、  
おなかを下につけれ  
ばいいんじゃない？

国語：ひらがな

その字知ってる！  
みんなが同時に話  
したら聞いてもら  
えないから、手を  
挙げて言うことに  
しようよ！

## A-4 スタートカリキュラムの意義を園や保護者に伝える

- 本校教職員と園の先生との定期的に交流会を開きました。(B-2、B-4)
- スタートカリキュラム研修会に園の先生に参加してもらい、スタートカリキュラムの意義を共有しました。(B-3)
- 就学時健診にて校長がスタートカリキュラムについて説明しました。(11月)



## B-1 スタートカリキュラムミニ研修会(4月)



「おばけの学校たんけんたん」から子どもたちへのかかわり方を学びました。

入学式前、机の中に折り紙を準備して安心感を。



## B-2 職員同士の交流会(5月)



園の経営方針を聞き、卒園児の様子を報告しました。



本当は子どもどうしの交流をかねて植えたかったのですが、ナザレ幼稚園の園庭に、共同植樹でぶどうの苗を植えました。ぶどうは3年間で実をつけます。充実した推進になるよう思いをこめて植えました。



## B-3 園の先生と共に全職員で校内研修(5月)



國學院大学の田村学先生、吉永安里先生、文部科学省教科調査官斎藤博信先生、こども青少年局鈴木暁範先生をお呼びして、スタートカリキュラムの理念や意義についての校内研修会を開きました。



スタートカリキュラムの実態を知っていただくために、ナザレ幼稚園の教務主任野崎先生も一緒に研修に参加していただきました。

スタートカリキュラムは1年生に関わる先生だけでなく、学校全体で取り組むことの大切さ、また、スタートカリキュラムの理念は、6年間を通して活用していくことの大切さを学びました。

## B-4 ナザレ幼稚園からんこやまの見学



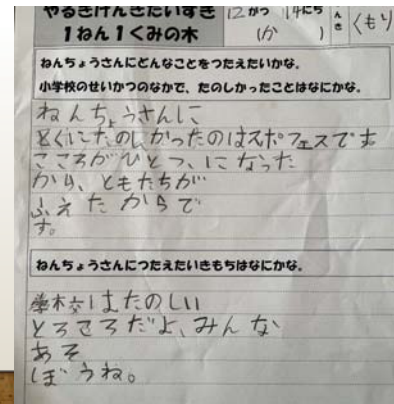
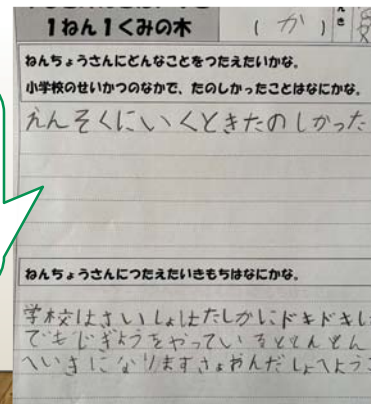
ナザレ幼稚園が隣に保有するからんこやまを見学させていただきました。自然を生かした山で、新型コロナウイルスの懸念がなくなったら、ぜひ、子ども同士の交流をしたいと思います。



4月に共同植樹したぶどうの苗も大分大きくなっていました。

## C-1 年長さんへメッセージ動画の作成 (12月)

就学児検診を受けて、間もなく入園する年長さん達が安心して学校に来れるようにメッセージ動画を作ろう！ということになりました。



## C-1 年長さんへメッセージ動画の作成 (12月)



ナザレ幼稚園 卒園児



### 動画内容

これから恩田小学校の楽しいところを紹介します。



生活科のお勉強で、秋の実レストランを開きました。楽しかったよ！



遊び係さんの計画で、だるまさんが転んだをクラスのみんなでしたよ！



先生たちが一緒にブドウを植えたと聞きました。早く大きくなってほしいです。



恩田小学校は楽しいところだよ！入学したら一緒に遊ぼうね。待ってるよ！



## 成果と課題

### A 園と学校で進めるスタートカリキュラムの開発、カリキュラムマネージメント

#### 成果

入学式の前から丁寧に準備を進めたので、園の様子や環境を参考にしたスタートカリキュラムを進めることができた。その結果、保護者アンケートからも学校生活へのスムーズな移行が実現できたことが伺える。

#### 保護者アンケートより（抜粋）

- ・わくわくタイムやぐんぐんタイムなど遊びの延長から学びに発展していくところが素晴らしいと思いました。
- ・初めての学校生活で不安もありましたが、朝の会の前にある自由な時間やなかよりタイムでの自己紹介ゲームなどが楽しかったようで色々話してくれました。

#### 課題

来年度以降、スタートカリキュラムについて園と共に話し合う時間をもち、より具体的に連携していきたい。



## 成果と課題

### B 保育参観や授業参観を通じた教職員の連携

#### 成果

記念植樹を通して語らいの時間をもったり、講師を呼んでのスタートカリキュラム校内研修会に園の先生も参加したりするなど双方向から積極的に交流することができた。互いに子どもたちを温かい目で見ていこうという共通認識をもつことができた。同じ方向を向いて幼保小連携を推進していこうという確認ができたことは、大きな成果だったといえる。

#### 課題

コロナ禍であったため、授業参観や保育参観をすることができなかった。来年度は是非、具体的な子どもの姿を見合うことで連携していきたい。



## 成果と課題

### C 子どもの交流活動

#### 成果

ギガスクール構想により、児童一人に一台の端末が整備された。動画での交流ではあったが、具体的に顔が見え、声の聞こえる交流をすることができたと思う。

#### 保護者アンケートより（抜粋）

- ・各幼稚園に恩田小の紹介を作成したこと。交流会が出来ない分、素敵だと思います。

#### 課題

今年度は、推進地区初年度であり、コロナ禍であったため、対面での交流をすることができなかった。来年度以降は、可能な限り対面での交流を実現したい。